

『沖縄県史 各論編7 現代』 目次・執筆者

部	章	節	タイトル	執筆者	
総論 現代編を読むためのガイド				前泊 博盛	
第1部 「アメリカ世」のはじまり	概説			宮城 晴美	
	第1章 収容所から居住地へ	第1節	隔離と帰郷・離散	鳥山 淳	
		第2節	基地建設の起点	林 博史	
	第2章 初期「自治」のスタート	第1節	「住民の政府」とその役割	黒柳 保則	
		第2節	政党政治の芽生え		
		第3節	市町村復活と食糧事情		
	第3章 混乱期のくらしと支えたもの	第1節	生活再建への道	川平 成雄	
		第2節	救援活動の軌跡		
		第3節	貨幣経済の復活と戦後復興の兆し		
		第4節	軍作業の始まり		
	第4章 初期占領政策における「教育」と「文化」	第1節	沖縄戦と教育	栗国 恭子	
		第2節	教育政策—戦後教育のはじまり		
		第3節	文化政策と文化活動—沖縄文化の再構築		
		第4節	戦後のメディアと言論統制—新聞を中心に—		
コラム ラジオ放送				三島 わかな	
第5章 長期保有の決定	第1節	占領と対日政策	若林 千代		
	第2節	帰属問題			
	第3節	本格化する米軍統治			
コラム 県人会				戸邊 秀明	
第2部 恒久基地化と住民の闘い	概説			仲本 和彦	
	第1章 米国統治下の琉球政府	第1節	米国による長期的な統治プラン	仲本 和彦	
		第2節	琉球政府とは	小野 百合子	
		第3節	琉球政府とUSCAR	仲本 和彦	
		第4節	権限の変遷	小野 百合子	
	コラム 講和会議				鳥山 淳
	第2章 基地の拡充と海兵隊移転	第1節	沖縄の要塞化	山本 章子	
		第2節	アジア冷戦の最前線とされた沖縄		
		第3節	海兵隊移転の実施		
	第3章 基地建設と島ぐるみ闘争	第1節	基地拡充工事とその影響	鳥山 淳	
		第2節	軍用地問題の激化		
		第3節	島ぐるみ闘争の展開		
		第4節	軍用地政策の修正と基地の拡張		
	コラム 朝日報道				仲本 和彦
第4章 復興の光と影	第1節	基地で働くということ	古波藏 契		
	第2節	復興の中の都市と農村			
	第3節	「基地経済」から「自立経済」へ			
第5章 親善と弾圧	第1節	復興の二つの顔	謝花 直美		
	第2節	復興の中に現れた暴力			
コラム 医介輔				増淵 あさ子	

部	章	節	タイトル	執筆者	
第3部 復帰への道のり	概説			鳥山 淳	
	第1章 ドル経済と宣撫政策	第1節	経済主義的統治へ転換	宮城 修	
		第2節	復帰願望の抑え込み		
		第3節	離日政策の限界		
	第2章 日本政府の関与と返還交渉	第1節	日本政府の援助	鳥山 淳	
		第2節	日米政府の交渉	中島 琢磨	
	第3章 自治・人権・復帰を求めて	第1節	復帰運動の再構築	戸邊 秀明	
		第2節	人権を求める運動の高まり		
		第3節	自治の確立を求める運動の高まり		
	コラム 日の丸・君が代				藤澤 健一
	第4章 ベトナム戦と沖縄	第1節	ベトナム戦争と在沖縄米軍基地	大野 光明	
		第2節	沖縄社会へのベトナム戦争の影響		
		第3節	反戦の意識・運動の広がりと変化		
	第5章 サトウキビ・ブームと農村の変容	第1節	沖縄農業の変貌	小濱 武	
第2節		サトウキビ・ブーム			
第3節		農村の変容			
第4部 復帰の激動	概説			前泊 博盛	
	第1章 返還に向けた日米琉の動き	第1節	沖縄施政権返還への目途づけ	明田川 融	
		第2節	主席公選		
		第3節	「核抜き本土並み」返還は実現したか		
		第4節	踏みにじられる沖縄の気持ち		
	第2章 基地と復帰をめぐる激動	第1節	復帰に向けた社会変化と人びとの反応	秋山 道宏	
		第2節	復帰を前にした軍事基地をめぐる動き		
		第3節	二・四ゼネスト回避後の沖縄社会		
	コラム 非琉球人				土井 智義
	第3章 復帰プログラ	第1節	復帰対策の胎動	宮田 裕	
		第2節	沖縄復帰の精神		
		第3節	復帰対策の基本と対策要綱		
		第4節	沖縄復帰特別措置		
		第5節	後見人としての「沖縄開発庁」		
第6節		沖縄振興法の制定			
コラム ナナ・サン・マル				前泊 博盛	
第4章 地域開発を問い直す住民運	第1節	複合的危機のなかで迎えた復帰	上原 こずえ		
	第2節	開発と住民運動			
第5章 基地の存続と自衛隊配備	第1節	維持された米軍基地	野添 文彬		
	第2節	自衛隊の配備	佐道 明広		

部	章	節	タイトル	執筆者
第5部 復帰後の展開	概説			前泊 博盛
	第1章 復帰後の沖縄振興と経済	第1節	政府の沖縄振興策と県経済の変遷	前泊 博盛
		第2節	「開発庁」方式の功罪	
		第3節	民間経済の変容	
	コラム 観光			高橋 順子
	第2章 復帰後の基地問題	第1節	変わらぬ沖縄の米軍基地	照屋 寛之
		第2節	SACO合意後の混迷	
		第3節	減らない基地負担と日米地位協定の改定	
	第3章 問われる沖縄戦	第1節	住民の視点による沖縄戦記録	普天間 朝佳
		第2節	沖縄住民の戦争体験の集成	
		第3節	問い直される沖縄戦認識	
		第4節	平和教育と平和行政の進展	
		第5節	沖縄戦認識変更の動きと新たな継承の取り組み	
	第4章 環境と開発	第1節	沖縄の環境と開発問題	河村 雅美
第2節		開発による「自然破壊」という環境問題		
第3節		基地返還跡地開発と環境問題		
第5章 離島架橋	第1節	架橋時代の到来—「隔絶性の解消」による島々の振興	前畑 明美	
	第2節	島々の架橋化とその現状		
	第3節	島嶼社会への架橋化の影響と架橋時代の課題		
コラム 県産本			新城 和博	
コラム 沖縄ブーム				
第6部 沖縄現代史の諸相	第1章 今なお続く沖縄戦の影響	第1節	沖縄戦で失われてしまったもの	仲本 和彦
		第2節	戦争で失われてしまった人材	
		第3節	家庭・社会を破壊した沖縄戦	
		第4節	沖縄戦から地続きの米国統治がもたらした影	
	第2章 異文化と伝統のはざま	第1節	敗戦後の異文化接触と住民生活	宮城 晴美
		第2節	離婚にみる沖縄社会の特徴	
		第3節	継続する伝統的家族制度	
	コラム しまくとぅば			仲原 稷
	第3章 県民意識の変容	第1節	米国統治下における沖縄住民の意識	小松 寛
		第2節	日本復帰をめぐる沖縄アイデンティティの葛藤	
		第3節	日本復帰後の県民意識の変容	
	第4章 教育と労働	第1節	基地に直面する教育と労働	戸邊 秀明
		第2節	県外への進学と就職	
	第5章 島嶼の戦後史	第1節	島嶼の定義と特性	嘉数 啓
第2節		島嶼の持続可能性		
第6章 世界の中の沖縄	第1節	世界のウチナンチュ	三木 健	
	第2節	引き揚げたウチナンチュ	今泉 裕美子	
コラム 甲子園			外間 一先	
コラム 首里城の再建			高良 倉吉	
巻末・資料		編集経過・執筆者一覧・協力機関および協力者一覧・図版出典一覧・年表・索引		